



北山田小だより



横浜市立北山田小学校
校長 滝川 尚美

「保護者、地域、中学校ブロックで、つながり、支える子どもたちの学び」

校長 滝川 尚美

新年度が始まって、1か月が経とうとしています。新しい生活にも少し慣れていたところでしょうか。正門を通りすぎる子どもたちの表情が少し和らいできたように思います。ただ、元気なようでも新しい環境の中で過ごすにはエネルギーもたくさん使っていると思います。これから連休になりますが、家でのんびりマイペースに過ごせる時間があるといいなと思います。また、先日は懇談会へのご参加ありがとうございました。学級・学年の担任、専科指導教員、チームマネージャー、児童支援専任をご紹介させていただきました。子どもたち一人一人をチームで見守ってまいります。お子さんの様子で気になることがありましたらどの教職員もご相談を承ります。お気軽にお声掛けください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、北山田小学校は、東山田中学校、東山田小学校、山田小学校と小中一貫教育推進ブロックのメンバーとして9年間で育てる子ども像を共有し、小学校から中学校の子どもの育ちによりよい支援が出来るように取り組んでいます。5月2日に行われる「東山田中学校ブロックにおける同時避難訓練や引取り訓練」はその一つの取組です。今後起きると想定されている「首都直下型地震」や「南海トラフ地震」に備え、いざというときに中学校や近隣小学校、地域と連携して児童の安全を守るように保護者の方々のご協力もいただき訓練を行います。その他、小学校と中学校の学びの連続性が保てるように、互いの授業を参観し、意見交換も行っています。

また、小中一貫教育推進ブロックの校長、PTA会長に、地域の方々や学識経験者を加えて、学校運営協議会も行っています。学校運営協議会では、学校運営の方針や各校の取組についての意見交換が行われ、一定の権限と責任をもって学校運営に携わっています。学校と地域が力を合わせることによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもの成長を支えていく、そんな学校づくりがこの会の目的になります。実際に本校の子どもたちのために学習支援ボランティアを派遣していただいたり、取組にご助言をいただいたりしています。また、各校PTAも参加しているので、保護者の立場からそれぞれの学校の取組についてのご意見をうかがえることはとても参考になります。最初の会議が、4月25日に開催されました。今年度は、子どもたちの体験活動が通常通り行えるようになることを踏まえ、地域の方が積極的にご協力をいただけることでした。学校運営協議会の委員の中には地域の企業を代表する方もいらっしゃいます。この会でのつながりを通して、子どもたちに本物の体験を提供できればと思います。

そして、校内には、読み聞かせボランティアや図書修繕ボランティアの方々があります。読み聞かせボランティアの方々は、主に月曜日の朝、全学級で読み聞かせをしてくださっています。図書修繕ボランティアお方は、傷んだ本の修繕や本を紹介するポップづくりもしてくださっています。そのおかげで図書館が本を手に取りやすい環境になっています。先日、読み聞かせボランティアキックオフの会がありました。そこで、11年にわたり活動を続けてくださったOBの方が本の読み聞かせをする際に気を付けていることを3つ教えてくださいました。



○最初に簡単に本な内容を説明すること(季節や行事 登場人物など)

○ゆっくりと読むこと

○読み聞かせた本についての自分なりの思いを簡単にさらっと伝えること

私自身も本が大好きです。本と出合うことで、知識だけでなく、新しい世界を知ったり、自分と違う考え方や感じ方に気付いたりすることができます。そういった子どもたちの読書体験を豊かにする学校でありたいと願っています。皆様の支えの中、本を通して、子どもたちにいろいろなメッセージが届けられていることに感謝いたします。

学校は、子どもの育ちを様々な方々に支えていただいています。保護者の方々とのつながり、地域とのつながり、近隣小・中学校とのつながり。それぞれのつながりと支えに感謝し、今年度も子どもたちが笑顔でいられる学校づくりを行ってまいります。